

第21回医療情報学連合大会 チュートリアルのご案内

第21回医療情報学連合大会（第2回日本医療情報学会学術大会）が、平成13年11月26日（月）～28日（水）までの3日間、東京都江東区のウオーターフロントにある東京ファッションタウンビル（東京国際貿易センター）において開催されます。

その関連行事として前日の11月25日（日）に以下の4つのチュートリアルを開催いたします。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム委員長 渡邊 亮一

－ チュートリアル 1 －

1. テーマと内容：

電子カルテにおける個人情報保護の実現方法 ー個人情報保護基本法の動きを交えてー

（講師：山本隆一 <大阪医科大学病院医療情報部・助教授>）

個人情報保護は医療従事者が最低限守らなければならない要件の1つであるが、情報が電子化された場合、2つの点で十分考慮しなければならない。1つは電子化による利便性の代償として危険性が増す点であり、対策は十分可能だが、システム設計者と利用者がともに考慮しなければならない要素がいくつか存在する。2つ目はいわゆる二次利用にともなう個人情報保護の考え方である。電子化すれば二次利用の可能性も広がり、教育・研究や公益利用も促進されるが、個人情報保護をないがしろにするわけにはいかない。本チュートリアルでは個人情報保護に関する法律の制定の動きを踏まえて、このような問題点を明らかにし、対処方法を具体的に提示する。

2. 日時：11月25日（日）13：00～14：45

3. 予定会場：東京ファッションタウンビル（東京国際貿易センター）E会場（904）

4. 参加費：3,000円

5. 申し込み、連絡先：大会事務局（東京大学医学部附属病院 中央医療情報部）

申し込みは所定の用紙（巻末）にてFAXでお願いします。受講者数は約100名です。

－ チュートリアル 2 －

1. テーマと内容：

HL7 version 3 実践ガイダンス –メッセージ設計から実装まで–

(講師：坂本憲広 <九州大学医学部附属病院医療情報部・講師>)

HL7 version 3は現在、第1回目のballot（会員投票）中であり、その結果を受けて来年春頃にstandardとなる予定である。現在のBallot Package（投票用資料集）には検査や処方などを含め、基本的なメッセージ設計が含まれている。本チュートリアルの前半では、このBallot Packageを教材として、HL7 version 3の構成、および提案されているメッセージ設計について詳細に解説する。また、HL7では、version 3メッセージ開発ツールとして、Microsoft VISIOのステンシル、RoseTreeと呼ばれるプログラムなどを提供している。チュートリアルの後半では、これらのツールの使用方法を紹介し、実際のメッセージ開発および実装方法を解説する。また、HL7 version 3メッセージを利用した電子カルテネットワークの実例についても紹介する。

2. 日時：11月25日（日）15：00～17：30
3. 予定会場：東京ファッションタウンビル（東京国際貿易センター）E会場（904）
4. 参加費：3,000円
5. 申し込み、連絡先：大会事務局（東京大学医学部附属病院 中央医療情報部）
申し込みは所定の用紙（巻末）にてFAXでお願いします。受講者数は約100名です。

－ チュートリアル 3 －

1. テーマと内容：

統計解析によるエビデンス発見法

(講師：赤澤宏平 <新潟大学医学部附属病院医療情報部・教授>)

医学・医療・看護の生データを統計学的に処理して科学的根拠を得るまでのプロセスをわかりやすく述べる。実際の臨床データや動物実験データに基づき、データの特徴、統計学的な推定や検定の適用方法、多変量解析の使い方、統計解析ソフトウェアの操作方法、データ収集の注意点などをわかりやすい例を用いて解説する。

2. 日時：11月25日（日）13：00～14：45
3. 予定会場：東京ファッションタウンビル（東京国際貿易センター）J会場（902）
4. 参加費：3,000円
5. 申し込み、連絡先：大会事務局（東京大学医学部附属病院 中央医療情報部）
申し込みは所定の用紙（巻末）にてFAXでお願いします。受講者数は約100名です。

－ チュートリアル 4 －

1. テーマと内容：

看護の知恵を得るために：看護ミニマムデータセットの概念と情報共有のあり方について

（ 講師：太田勝正 <長野県看護大学基礎看護学教室・教授> ）

病院等における看護情報システムの導入が徐々に進み、看護診断・介入・評価に関する情報がある程度蓄積できるようになってきました。しかし、そこから看護としての知恵を得るために、他施設あるいは諸外国の情報と比較したいときには、どのようにしたらよいでしょうか。1977年に米国看護情報システム会議で最初に報告されたナーシング・ミニマムデータセット（NMDS）の概念がそれに応えます。これは、インターナショナルNMDSとして、さらに発展しようとしています。一人一人の看護職が、あるいは個々の施設がどのような情報を蓄積し、どのように共有したらよいか、一緒に考えてみたいと思います。

2. 日時：11月25日（日）15：00～17：00

3. 予定会場：東京ファッションタウンビル（東京国際貿易センター）J会場（902）

4. 参加費：3,000円

5. 申し込み、連絡先：大会事務局（東京大学医学部附属病院 中央医療情報部）

申し込みは所定の用紙（巻末）にてFAXをお願いします。受講者数は約100名です。

●チュートリアル紹介のほか、大会プログラム、会場案内図などを大会ホームページでご案内しています。

大会ホームページ <http://jcmi2001.umin.ac.jp/>

